

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



国6.71 府6.76 市9.61

テスト漬け 競争教育やめよ

不登校児童・生徒在籍比率 (%)

年度	小学校			中学校		
	全国	府	市	全国	府	市
2021	1.30	1.46	1.47	5.00	5.35	7.59
2022	1.70	1.70	1.65	5.98	6.17	8.62
2023	2.14	1.97	1.97	6.17	6.76	9.61

不登校続増 大阪市(中)1割

不登校児童・生徒人数

年度	小学校			中学校		
	全国	府	市	全国	府	市
2021	81,498	6,190	1,637	163,442	11,919	3,934
2022	105,112	7,153	1,866	193,936	13,651	4,430
2023	130,370	8,188	2,227	216,112	14,818	4,917

全国の小中学校で23年度に不登校だった児童生徒が前年度比4万7434人増の34万人6482人で、過去最多を更新しました(中学校21万人、小学校13万人、表参照)。30万人超えは初。大阪市の中学校生徒の在籍率は9・61%約1割となりました。

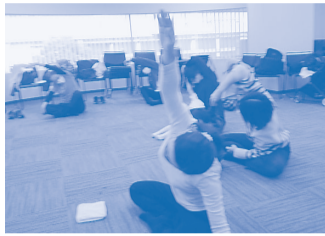
「学力経年テストのため授業を急いだ(小学校教員)、担任から「昨年の平均を上げるために頑張っています。受けま

すか?と言われた」(特別支援学級在籍児童の保護者)との声が上がっています。小学3年生からの学力経年テスト、5・6年すすくすくウオッチ(25年4月16日)、全国学力テスト、中学生チャレンジテストで、「親からみて学校がきゅうくつなんだろうな」と言われています。

「あまりにも競争的な学校環境から子どもを解放する」(国連子どもの権利委員会のことば)が必要です。

維新の市政私物化、市民に損害を今後30年間負わせ続けることは許せません。

子どもと教科書大阪ネット21総会が11月30日開かれまし



親子ヨガ

体も心もぽっかぽか

第35回わくわくひろばを12月21日に行いました。講師は、大阪市教研でも大好評だったマリリンさん。部屋に入ってくるや否や、子ども達が「マリリン」と大喜び。子ども達の素敵な笑顔と共に、「親子で楽しむヨガ」が始まりました。

あぐらスタイルで簡単な動きからちょっぴり難しいポーズまで、バッチリできました。さらに、子ども達がマリリン先生の動きを真似て、肩甲骨をほぐす「マエケン体操」を肩甲骨の仕組みから姿勢、手の動かし方などを細かく伝授。

参加者の質問にも丁寧な返答で、肩甲骨をほぐす「マエケン体操」を肩甲骨の仕組みから姿勢、手の動かし方などを細かく伝授。

日本のジェンダーギャップ指数は、118位と悲惨な現状です。人工妊娠中絶が刑法上犯罪とされる墮胎罪が未だに残っているのに、男性中心の刑法学会では話題にも上がらない状態です。日本の女性

性は、自分の性と生殖に関する包括的な権利が認められていない、つまり弱者です。弱者の権利を尊重する社会を目指して、教育現場も道徳教育より主権者教育こそ進めていかなければと思えます。少数意見を尊重してこ

夢洲格安賃料提訴 市長に損害賠償

カジノ用地格安賃料による損害約1044億円の賠償を松井一郎前市長、横山英幸現市長、大阪港湾局長、カジノ業者、不動産鑑定業者4社・不動産鑑定士個人に請求する訴訟が、12月16日に提訴されました。

大阪市の対する住民監査請求(大阪市民496人)が一部却下・一部合議不調となったため、監査請求人の3人が代表して提訴しました。

賃料を決めるための不動産業者の鑑定は428円/m²と「奇跡の一致」をしました。428円は夢洲コンテナヤードの賃料とほぼ同じで

①高層ホテルを含むカジノ用地であるのに、低層層の商業施設用地として格安に賃料を算定。②夢洲新駅が開業することが確定であるにもかかわらず隣の島

の駅(コスモスクエア駅を「最寄り駅」としている。③「違法な鑑定条件の示し合わせ」に、大阪市が積極的に関与していたことが判明。

教育課程自主編成を攻撃 小6生「間違っていない」

子どもと教科書大阪ネット21総会が11月30日開かれまし

主要な役割が与えられる(教員の地位に関する警告)ことの重要性を発言しました。

問題の本質は、国・自民党・県教委が起した介入事件です。発達段階と教科書の系統性からの創意工夫を許さない、学習指導要領に拘束力があるとする不当なもの。6年生が1〜5年生に、「みなさん、この学校で学んでいることに自信をもってください。僕たちはこんなに成長できました。この学校の教育は決して間違っていない!」と語ったことで明らかです。

仲間が増えた!

2024年仲間が増えた! 前進を確信 組合に誘おう

2024年はさまざまな相談や職場活動で新しい仲間を迎えることができました。組合の存在を知らせ、私たちの運動を広げる活動を分会や支部、専門部で行ってきました。組合は「要求をかなえる」という一点で集まり運動する団体です。「いきいきと仕事がしたい」「子どもたちと笑顔で過ごしたい」という誰もが願う職場や社会の実現を目指しています。組合に誘うことは決して高いハードルではありません。2年連続の賃上げや権利の改善など、運動は確実に前進しています。さあ、あなたの職場の仲間の声を聞き、語り合きましょう。「組合どうですか」と誘ってみませんか。まずは1人、私たちの仲間を増やす活動をすすめましょう!